

# フジタ通信 7月号



今月のフジタ通信は、

表情や感情を表現する可愛らしい“ヒゲ”についてです。

いったいどんな役割があるのでしょうか。



目を守る



目の上にあるヒゲはまぶたの神経とつながっており、ヒゲが何かに当たると反射的にまぶたを閉じ目を保護します。

茂みの中に入ったときなど、目を傷つけないようにする役割があります



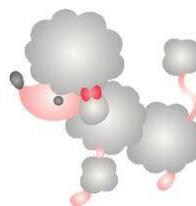
敏感なセンサー



ヒゲは他の毛に比べて長く、太さも2倍以上あります。

ヒゲの根元にはたくさんの神経が通っていて、風向きや、空間の些細な変化を感知し獲物を見つけたり、空気の流れを感知し暗闇でもモノにぶつからず歩いたりできます。

イヌは、あまりヒゲに頼った生活をしていないと言われています。  
実際トリミングの際に見栄えをよくするためヒゲを切ることは多く  
行われています。



しかしネコはどうでしょう。

「ネコのヒゲを切ると歩けなくなってしまふ」そんなことを聞いたこ  
とはありませんか？

ネコのヒゲには他にも役割があります。

## 平衡感覚

隙間を通り抜ける際、そこが通れるかどうかの判断をします。

## 感情表現



- リラックス時 → 真横に伸びる
- おびえている時 → 後方に動く
- 興味がある時 → 前方に動く



ヒゲ自体は毛を切るのと同じで、切っても痛みはありませんし、また伸び  
てきます。

しかし、抜くと痛みがあり、時には出血することもあるので、自然に抜け  
る以外は抜かないようにしましょう。